

株式会社エスト御中

報 告 書

試験の名称:抗ウイルス剤のヒト・コロナウイルスへの効果試験

令和2年8月28日

R2-47

特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-20-8-3F

TEL : 03-5740-6181 FAX : 03-5740-6185



試験の名称：抗ウイルス剤のヒト・コロナウイルスへの効果試験

依頼者：株式会社エスト

受託者：特定非営利法人バイオメディカルサイエンス研究会

試験主任者：習志野実験施設 常任理事 水越幹雄

試験実施施設：千葉県習志野市茜浜 1-12-3

特定非営利法人バイオメディカルサイエンス研究会習志野実験施設

資料の保管場所：同上

報告書作成日：令和2年8月28日

報告書作成者：習志野実験施設 常任理事 水越幹雄

抗ウイルス剤のヒト・コロナウイルスへの効果試験

目的：抗ウイルス剤のヒト・コロナウイルス（ヒト）への効果を検証する。

材料

1 被験物質（サンプル）：

抗ウイルス剤 MP1

抗ウイルス剤 MP2

2 使用ウイルス：Human Coronavirus 229E (ATCC VR-740)

使用細胞：MRC-5 Lang Fibroblast (ATCC 171)

試験方法（ISO 18184 準拠）

1 検体の作成

抗ウイルス剤 MP1・MP2 各 0.1ml を規定のバイアル瓶に準備する。

2 本試験

① 上記各バイアル瓶にコロナウイルス（ヒト）を 200 μ L 垂らし、25℃にてバイアル瓶内に保つ。

② 10分後 SCDLP 培地を 8mL 加え、バイアル瓶にてヴォルテックスで1分間×3回抽出後ブランク法試験まで4℃に保つ。

3 感染価測定：ブランク法で行う。

成績：成績は下表のようであった。

作用時間	被験サンプル	感染価 (PFU/0.1mL)
0分	PBS	3.1×10^6
10分	抗ウイルス剤 MP1	$< 10^0$
10分	抗ウイルス剤 MP2	7.1×10^2

考察：抗ウイルス剤 MP1 について、上記の成績のとおり 10分の反応で (99.99%) 低下しており、コロナウイルス（ヒト）に対して顕著な抗ウイルス効果が認められた。また抗ウイルス剤 MP2 について、上記の成績のとおり MP1 より弱い が 10の3乗以上感染価が低下しており、抗ウイルス効果が認められた。